

◆飯島科研・TEAP プレイACEMENTテスト（仮称）共同研究 合同シンポジウム

## 日本の大学英語教育の質保証と充実に向けて： EAP の課題と可能性

### Towards Quality Assurance and Enhancement of University English Education in Japan: Challenges and Opportunities of EAP

#### プログラム（予定）

##### 第 1 部：科研成果報告・招待講演

科研費基盤(B)「大学英語教育の質保証指標モデルと EAP 教員コア・コンピテンシー枠組の開発」（2019-2022 年度 研究代表者：飯島優雅（獨協大学）JP19H01286）で取り組んだ、国内大学での実践に基づく EAP カリキュラム指標と EAP 教員に求められる知識・技能（コンピテンシー）のモデル開発について報告。

招待講演 1：DR LIA BLAJ-WARD, NOTTINGHAM TRENT UNIVERSITY

招待講演 2：PROFESSOR DIANA LAURILLARD, UCL INSTITUTE OF EDUCATION

##### 第 2 部：TEAP プレイACEMENTテスト（仮称）の大学教育段階における有用性の 検証研究 途中報告会

大学英語教育学会 特別顧問 寺内一教授（高千穂大学学長）を中心とした研究チームと日本英語検定協会の共同にて行う、高等教育における英語 4 技能測定を目的として制作された試験「TEAP」の各大学教育段階における英語能力測定を目的とした有用性検証の途中結果報告。

日時：2月13日（月）13時～16時30分（ZOOM、対面ハイブリッド開催）

会場：京都大学東京オフィス

参加費：無料（要事前登録）

問合せ先：日本英語検定協会 教育事業部 飯島科研合同シンポジウム事務局  
cs-support@eiken.or.jp

参加申込：<https://bit.ly/SYMPappli>

